連載 第47回　福利厚生で良い会社が分かる！「ハタラクエール」

福利厚生推進法人　認証

住友理工株式会社

～信用確実，従業員に対しても信用信頼を貫く～

住友理工株式会社（以下，同社）は，自動車用防振ゴム市場で世界トップ，自動車用ホース市場で国内トップの製品シェア（2023年実績同社調べ）を誇る，住友電工グループのメーカーだ。

同社の特徴は，時代の変化に応える「チャレンジ」の姿勢であり，従業員は新しいことを始めるとき「できない可能性」に目を向けるより，「まずやってみよう」と考える意識が根付いている。同社は「ハタラクエール2024」において福利厚生推進法人の認証を受けた。3年連続の認証である。そんな従業員を支える福利厚生制度について人事部給与厚生課の杉本課長，比澤さんの2名にお話を伺った。

エンゲージメント向上に繋がる福利厚生

同社は「住友理工で働きたい，働いてよかった」と従業員に感じてもらえる制度運営に努め，多様な人材が生き生きと働ける会社を目指している。そのため，同社では福利厚生をエンゲージメント向上につながる重要な施策として捉えている。会社，共済会，友愛会それぞれが従業員のために，住宅関連補助，健康・医療，育児・介護，慶弔・災害補償，レクリエーション，自己啓発，そして金融支援など一体となって運営している。以下，特徴的な取り組みを紹介する。

従業員の満足度向上につながるカフェテリアプラン

23年4月にカフェテリアプランを導入した。従業員の価値観やライフスタイルの多様化への対応を狙いとしている。また現金給与以外の形で従業員の生活を支援したいという思いもあるという。

付与ポイントは年間で3万ポイント（3万円相当）である。ポイントの原資は既存の福利厚生の組み替えからの捻出にとどまらず，新規予算も投入する力の入れようである。なお，付与されたポイントの有効期間は2年間と長く，使いやすくなっている。具体的には「財産形成，人間力向上，健康増進，コミュニケーション，ライフサポート」という5つの柱でメニューを用意している。家族の記念日での食事などのイベント費用を補助するアニバーサリーメニュー，通勤に使用している自家用車の車検費用補助メニューなどが特徴的である。

カフェテリアプランを利用するためのサイトの初回登録率および月次ログイン率は高いものの，ポイントの有効期間が2年間ということもあり，現時点でのポイント消化率には課題がある。ポイントを使いきってもらうことが従業員満足ひいてはエンゲージメント向上につながることから，消化率の一層の向上に注力している。

個人PCがない現場で働く従業員やITリテラシーのハードルが高い高齢従業員が日常的に利用できるよう，カフェテリアプラン制度に特化した「カフェテリア通信」といった刊行物の月次発信や必要に応じた個別サポートなどを実施している。発信内容は，創意工夫を凝らしており，制度利用につながるよう会社が制度に込める思いを始め，メ

住友理工株式会社　概要（2023年3月末現在）

業　　種	ゴム工業
事業概要	・自動車用品部門 防振ゴム，ホース，制遮音品・内装品，燃料電池（FC）部材，ゴムシール材 ・一般産業用品部門 精密樹脂ブレード・ロール，鉄道車両用・住宅用・橋梁用防振ゴム，高圧ホース・搬送用ホース
従業員数	4,434名（うち非正規社員754名）
男 女 比	84:16
平均勤続年数（正規従業員）	16.4年
平均年齢（正規従業員）	41.8歳

ニューの利用例や利用手順などである。

育児・介護との両立従業員を積極的に支援

事業所内託児所「コアラぽっけ」 09年に小牧本社・製作所（愛知県小牧市）の敷地内に事業所内託児所「コアラぽっけ」を開設した。会社稼働日であれば祝日も受け入れており，延長保育も午後 8 時 30 分までとするなど，子育て中の従業員を手厚く支援している。現在，20～30名の園児が在籍している。

育児奨励休暇 育児に積極的に参加することを目的として，育児休業制度とは別に，1 歳未満の子を持つ従業員に性別にかかわらず年間5日間の特別有給休暇を付与する育児奨励休暇を設けている。また小学6年生までの子を持つ従業員を対象とした短時間勤務制度や，短時間フレックス勤務制度といった仕事との両立支援制度も整備している。その他にも，配偶者出産休暇制度，在宅勤務制度，コアタイムの無いフレックスタイム制度などがある。

共済会, 友愛会でセーフティネットを支援

共済会 従業員，会社双方が費用拠出し，共済会を組織・運営している。内容は各種慶弔給付，疾病治療時の休職者への給付，ならびに定年退職者医療給付などである。

友愛会（互助会） 共済会とは別に，さらに従業員，会社双方が費用拠出する友愛会（互助会）が従業員交流の場を提供し，従業員間のコミュニケーション強化の役割を担っている。具体的には，部門ごとの懇親会への補助，慰安会やゴルフイベント企画などを実施している。

その他の主な福利厚生制度

資産形成支援にも積極的 資産形成支援制度として確定拠出年金に加え，賞与に連動し，掛け金を増額できるセカンドライフ拠出制度を導入している。まだまだ投資に不慣れな従業員もいるが，退職時に知識不足で後悔してほしくないという会社の思いがあり，従業員の金融リテラシー向上に力を入れている。現在は特に，確定拠出年金の知識向上のために解説動画のWEB配信や対面型のセミナーで，自発的行動の啓発に苦心している。

しっかり休める休暇制度 仕事とのメリハリが

事業所内託児所「コアラぽっけ」

付くよう休暇制度も充実させている。誕生日の前後1カ月に取得可能な誕生日休暇，10年・20年・30年といった規定の勤続年数ごとに連続5日間の休暇と一時金が給付されるリフレッシュ休暇，社会貢献活動への参加を支援するためのボランティア休暇・ボランティア休職などがある。また，製作所・事業所のカレンダーでは，GW，夏季，年末年始と年に三度も長期休暇があり，プライベートの充実も可能だ。

今後の取り組み

まずはカフェテリアプランや確定拠出年金などの制度の利用をさらに高めていくことが目下の目標とのこと。動画や周知の資料を従業員に発信するだけでなく，積極的に制度を利用している従業員から他の従業員に発信してもらうなどの方法がある。

また前述のように同社では福利厚生を提供する主体が会社，共済会，友愛会と複数あり若干の重複感がある。例えば友愛会でスポーツ観戦やコンサートなどのチケット補助制度がある一方，カフェテリアプランでも同じ機能のメニューがある。今後はカフェテリアプランのメニューに統合させていくといった方法などで福利厚生制度の整理を進めていきたいという。

福利厚生制度の運営については，担当部署だけに止まらず，経営層まで含めた会社としての福利厚生に対する意思表示が必要と考えている。例えば，確定拠出年金の運用商品の入れ替えなどは会社として判断していることを今まで以上に従業員に示していくことが必要と考えている。

29年の創立100周年を控え「住友理工で働きたい，働いてよかった」という声を増やしていきたいとしている。